EA780AC－８ レーザーオートクロス取扱説明書

この度は当商品をご購入頂き誠に有難うございます。
ご使用に際しましては、取扱説明書をよくお読み頂きます様宜しくお願い致します。

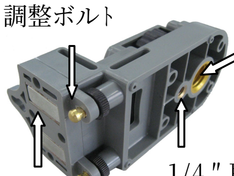
注意

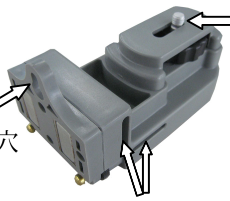
1. レーザー光を直視しないで下さい
2. レーザー光を人に向けないで下さい
3. 絶対に子供に触らせないで下さい
4. 自身で修理や分解は決してしないで下さい
5. 火気。高温場所にさらさないで下さい
6. 長期間使用しない時は電池を外して下さい

装置を大切に扱い、次の項目についても注意を払って下さい

1. 下記の場所には決して置かないで下さい
   1)磁気を帯びた場所　　2)振動のある場所
2. メンテナンス
   1)ガラスの汚れによりレーザー光は暗くなります。ガラスクリーナーで綺麗にして下さい。
   2)乾いた柔かい布で装置を綺麗にし、洗剤、水洗いはしないで下さい
   3)雨に濡れた際は、装置を乾かして綺麗にしてケースへ入れて下さい
3. 保管
   湿気のない乾燥した所へ保存して下さい

【各部の名称】





【セット内容】

【仕様】

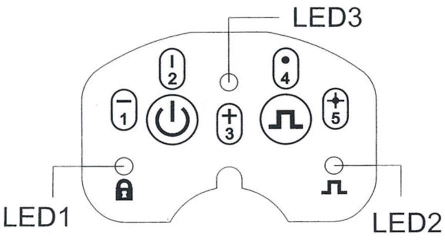
●レーザー･･･
垂直ライン、水平ライン、5ポイント
(上･下･左･右･前)
●出力･･･1mW以下(クラスⅡ)
●波長･･･635nm(±5nm)
●使用距離･･･約30m(受光器使用にて)
●指示精度･･･
水平、垂直ライン：±3mm/10m
上ポイント：±1.5mm/3m
下ポイント：±1.5mm/2m
左･右･前ポイント：±4mm/10m
ポイントの水平精度(左･右･前)：±4mm/10m
90°角(ライン交差)を含む角度精度：
±4.5mm/10m
●電源(テスト用電池付属)･･･
本体：単3電池3本
受光器：9V電池1個
●レーザーサイズ(幅)･･･±2mm/5m
●照射ライン角度･･･150°

【電池の交換方法】

以下の手順で単3電池3本をセット、取り替えて下さい。
1．電池カバーを開けて下さい。
2．電池を取り出し、取り替えて下さい。
※電池の向きは電池ボックス内面に表記しております
3．電池カバーを閉めて下さい。
※電池のプラス極から入れるとセットしやすいです。

【使用方法】

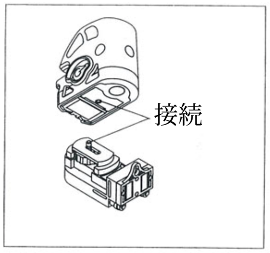
1．ロックつまみを解除位置にして下さい(ロックを解除して下さい)
2．⏻ 電源ボタンを押して下さい。LED3が緑色に光ります。
⏻ 電源ボタンを押す毎に、
以下の順番で照射パターンが変わります
水平ライン照射 ⇒ 垂直ライン照射 ⇒ 水平･垂直ライン照射
⇒ ポイント(5点)照射 ⇒ 水平･垂直ライン、ポイント(5点)照射
3．受光器は、レーザー機能範囲が増し、屋外でも使用出来ます。
⏻ 電源ボタンを押し、⎍ ボタンを押して下さい。
波長モードがONになり、LED2が光ります。

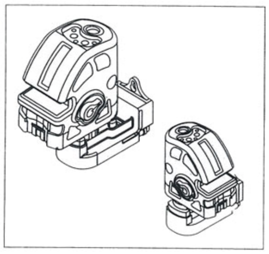


4．ロックつまみを解除位置にしていない(ロックを解除していない)と、LED1が緑色に光ります。
5．装置(本体)が補償範囲(3°±0．5°)を越えて傾いていると、
レーザー光は1秒間に約2回程点滅します。
6．電池残量が無くなってくると(3．3V以下)、LED3の緑色ランプが赤色に変わります。
※電源を切る際は、⏻ 電源ボタンを長押しして下さい。

【アクセサリー接続方法】

1．多機能ベース
装置(本体)底面の1/4″ねじにて、
多機能ベースを接続して下さい。
装置は多機能ベース上で360°回転出来ます。





2．多機能ベースの5/8″･1/4″取付ねじは、
三脚に固定する事が出来ます。

【精度チェック】

1．水平ラインと前、左、右のポイントのチェック

①5mぐらい離れた壁と壁の中間地点に装置(本体)をセットして下さい。

②装置(本体)のスイッチを入れ、一方の壁面にて水平ラインと垂直ラインが交差する点に”Ａ１”とマークを付けて下さい。

③装置(本体)を１８０°回転し、もう一方の壁面も同様に、交差する点を”Ａ２”とマークを付けて下さい。

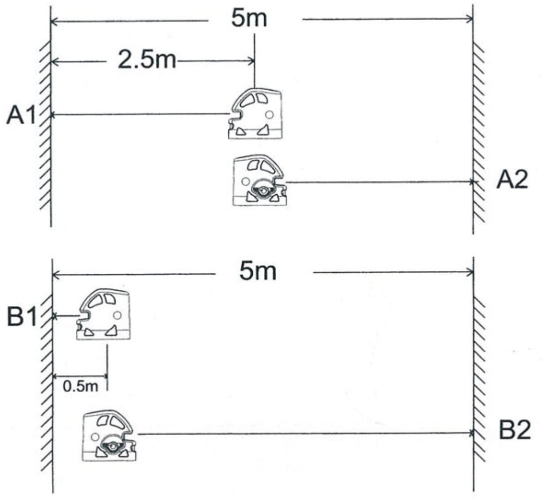
④”Ａ１”とマークした壁から0．5m離れた所に装置(本体)を移動させて下さい。

⑤手順②と同様に、壁に向かってレーザーを照射し、水平ラインと垂直ラインが交差する点に”Ｂ１”とマークを付けて下さい。

⑥装置(本体)を１８０°回転し、”Ａ２”とマークした壁面に対してもレーザーを照射し、”Ｂ２”とマークを付けて下さい。

⑦(Ａ１-Ｂ１)－(Ａ２-Ｂ２)を計算し、計算値が2mm以下であれば正常です。
もし計算値が2mmより大きいのであれば異常です。

⑧前、左、右ポイントも同様の方法で判断します。
もし計算値が3mmより大きいのであれば異常です。

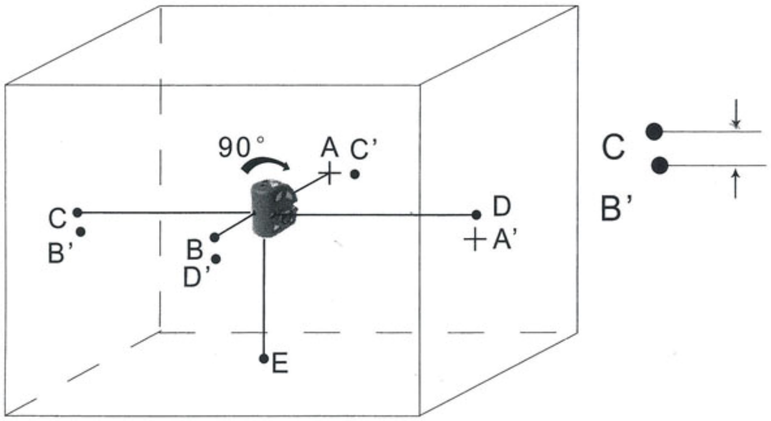


2．交差する９０°角のポイントと前･左･右のポイントの角度チェック

①装置を多機能ベースへ取り付けます。
6m四方の部屋の中心に装置を置き、 電源ボタンを押して
”水平･垂直ライン、ポイント照射モード”を選択します。

②壁面に交差する点、前･左･右のポイント、床へ向いている下ポイント、
それぞれにA、B、C、D、Eとマークを付けて下さい。

③下ポイントに基いて、装置(本体)を９０°回転して下さい。
壁面へそれぞれ照射しているポイントにA’、B’、C’、D’とマークを付け、
AとC’、BとD’、CとB’、DとA’のそれぞれの距離を測って下さい。
もし計算値が2mmよりも大きいのであれば異常です。



３．水平ラインと前･左･右のポイントの水平チェック

①三脚へ多機能ベースを装着した装置(本体)をセットして下さい。

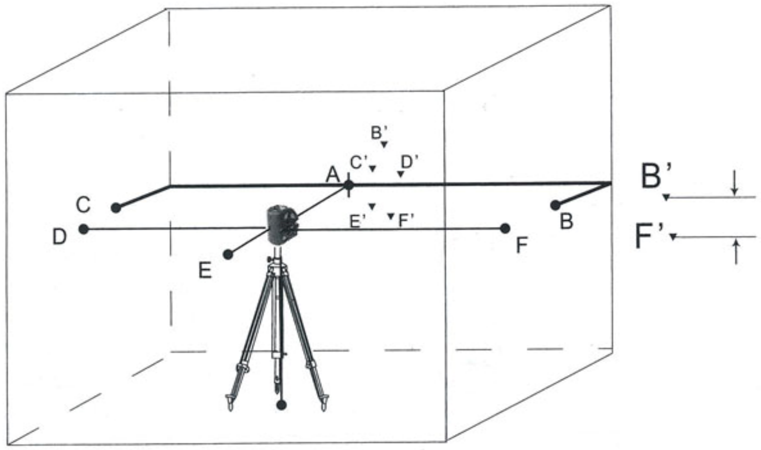
電源ボタンを押し、”水平･垂直ライン、ポイント照射モード”を選択して下さい。

②一方の壁面にて交差する点を”Ａ”とマークして下さい。
(水平ラインと垂直ラインが交差する点)

③装置(本体)を回転させ、Ａマーク付近へそれぞれのポイントを順番に照射していきます。
(水平ラインの両端を仮にＢとＣとし、前･左･右のポイントをＤ･Ｅ･Ｆとします。
Ａマーク付近へ各々のパターンを照射したポイントをＢ’、Ｃ’、Ｄ’、Ｅ’、Ｆ’とマークします)

④Ａ、Ｂ’、Ｃ’、Ｄ’、Ｅ’、Ｆ’の各ポイントの中で、１番高いポイントから１番低いポイントの垂直距離を測ります。

⑤その計測値が３ｍｍより大きいのであれば異常です。



４．垂直チェック

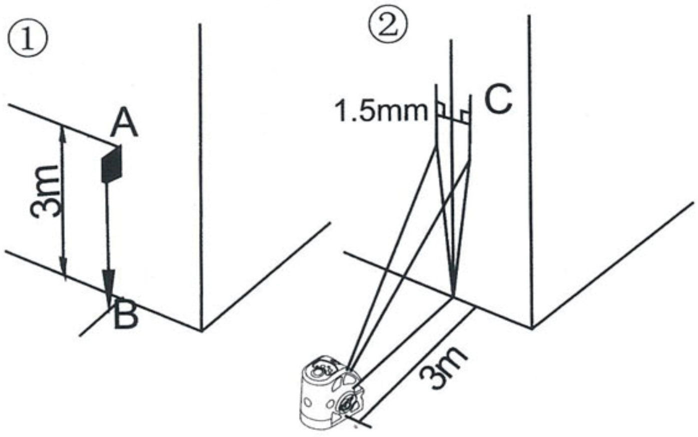
①窓のない壁にて、床から３ｍの高さの地点に”Ａ”とマークを付けて下さい。

②Ａ点から床へ垂直に交わる点に”Ｂ”とマークを付けて下さい。

③Ｂ点から約３ｍぐらい離れた所(床)へ装置(本体)を置いて下さい。

④装置(本体)のスイッチを入れ、Ｂ点に向けて垂直ラインを照射して下さい。

⑤この状況下で、壁面A点の近くの照射点を”Ｃ”とマークを付けて下さい。
ＡとＣの距離間が１．５ｍｍより大きければ異常です。



5. 上・下のポイントのチェック

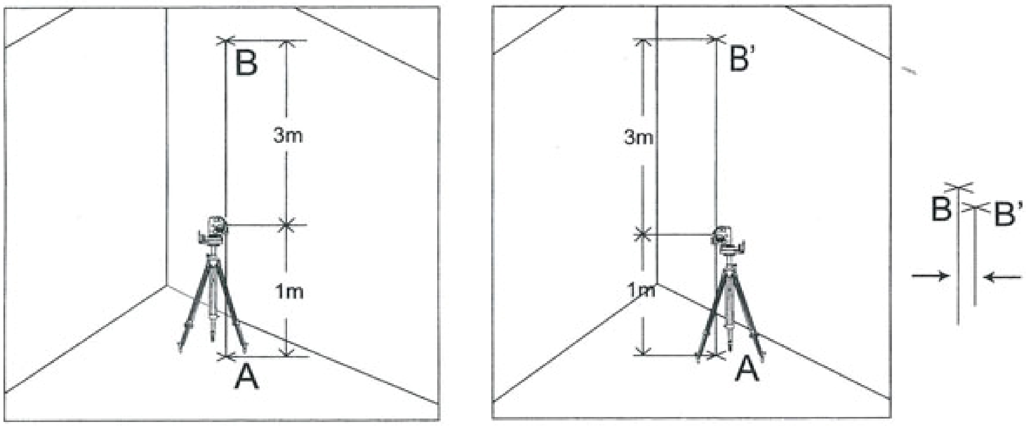
①4m高の部屋において、約1m床から離れた場所へ装置(本体)をセットして下さい。
その後、装置(本体)の電源を入れて下さい。　※三脚を利用

②床へ照射しているポイントを”A”とマークを付け、
天井へ照射しているポイントを”B”とマークを付けて下さい。

③三脚ごと180°回転し、下ポイントをA点に向けます。

④天井へ照射しているポイントを”B’”とマークを付けます。

⑤BとB’の距離間を測って下さい。
もし計測値が3mmよりも大きいのであれば異常です。



改造はしないで下さい
●本機の寿命を著しく損ねる場合があります
●ご使用者が怪我をする恐れがあります
●作業工程に支障を来たす場合があります

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3－8－14
TEL（06）6532-6226　FAX（06）6541-0929